

【銀座・和光】AR・NFTを駆使した、リアルとデジタルで体験するクリスマス ウィンドウディスプレイ

12月25日（日）までの期間、AR体験やNFTを無料でプレゼント

銀座四丁目交差点のランドマークとして知られる和光。1932年に竣工された二代目の時計塔は、今年で90年を迎えました。また和光が設立されて75年という年でもあります。

和光の2022年クリスマスシーズンのディスプレイは、ショーウィンドウ70年を記念するインスタレーション。12月25日（日）までの期間、クリスマスシーズンのウィンドウディスプレイだけでなく、AR（拡張現実）空間や和光で初めて製作したNFTといった、リアルとデジタルを組み合わせた体験をお楽しみいただけます。



■ウィンドウディスプレイ「和」 — Harmony —

今回は、和光のショーウィンドウのアーカイブから、そのエッセンスを詰め込んだ14点のクリスマスオーナメントをデザインしました。なかでもクリスマス時期に大変人気を博した4つのウィンドウから、シロクマ、ペンギン、ウサギ、トナカイの親子を3Dポリゴンで立体化。その他にはグラフィカル、妖精、ロボット、占い、アドベントカレンダー、髭、キャンドル、ベル、夜空など多様なテーマを取り上げています。

ウィンドウの中央には、時計を象ったオーナメント。時間の経過や過去に遡る様子を針の動きで表現しています。さまざまな年代を彩ってきたクリスマスシーズンのディスプレイに焦点を当て、時代を超えて調和するショーウィンドウです。テーマの「和」は和えることの意味。異なるものを生かしながらか合わせていくことで新しいものを生み出そうとする言葉です。

■可愛いオーナメントがとび出す、AR体験！

ウィンドウディスプレイは、リアルではありません。ディスプレイの前に掲載されている二次元コードを読み取ると、AR（拡張現実）空間にショーウィンドウが広がります。

動くクリスマスオーナメントや目の前を羽ばたくハトなどがとび出し、リアルでは感じることでできない、非現実的な体験をお楽しみいただけます。



■期間限定でNFTを無料でプレゼント

メタバースやブロックチェーンなど、デジタル技術が進歩する現代では、思い出を保管できる場所はリアルだけではありません。自分が経験したことの証を、NFTとしてデジタル上で保管することができます。

今回、和光で初めて制作したNFTは、ウインドウディスプレイ「和」をデジタルイラストにしたアートです。

中央ウインドウの二次元コードまたは以下のページから、無料で配布しています。

この機会に銀座にいらした思い出を、NFTで記念に残してみませんか。

ウインドウディスプレイ「和」のNFTは、以下よりダウンロードしていただけます。

◎ガイダンスに沿ってお受け取りください。

<https://www.sushitop.io/1qrshot/company/wako/index.html>



当プレスリリースURL

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000140.000025779.html>

株式会社 和光のプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrhp/company_id/25779

株式会社 和光 マーケティング部 マーケティング・広報宣伝

メールアドレス : wako-pr@wako.co.jp

電話 : (03)5250-3127 FAX : (03)5250-3133